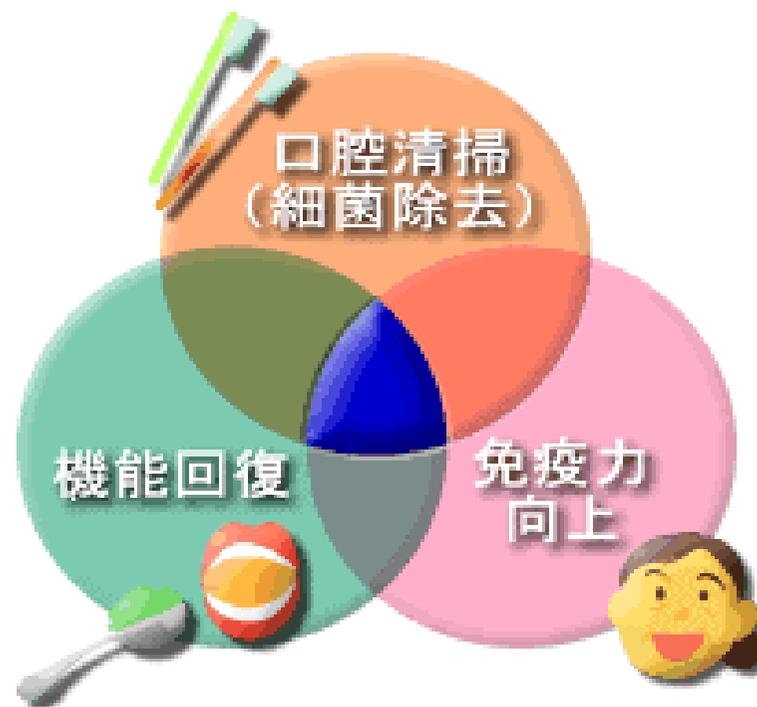


誤嚥性肺炎の予防

* 誤嚥性肺炎予防3因子 *

- 口腔内の清掃により口腔内細菌を減少させる
- 口腔リハビリを行なうことで嚥下の機能の回復を図る
- 免疫力を高める

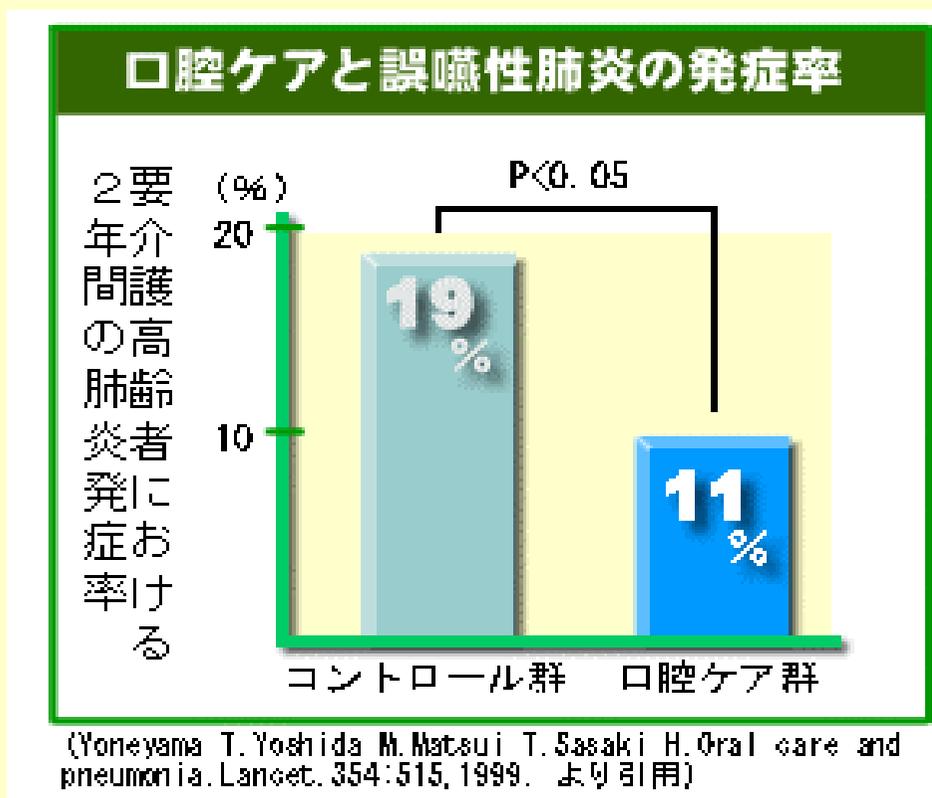
誤嚥性肺炎予防3因子



だから口腔ケアが必要なんです！

T-TAK

口腔ケアが誤嚥性肺炎の予防に大きな効果



口腔ケアによって肺炎が約40%予防できる

口腔ケアの目的

口腔ケアとは・・・口腔の疾病予防、健康保持・増進、リハビリテーションにより
生活の質の向上をめざした科学であり技術である

- 唾液分泌を促進させる
- むし歯、歯周病などを改善する
- 口腔内を清潔に保つ
- 誤嚥性肺炎の予防
- 将来、経口摂取をするための嚥下のリハビリになる
- 正常な味覚を保ち、食欲を増す
- 生活のリズムを整える

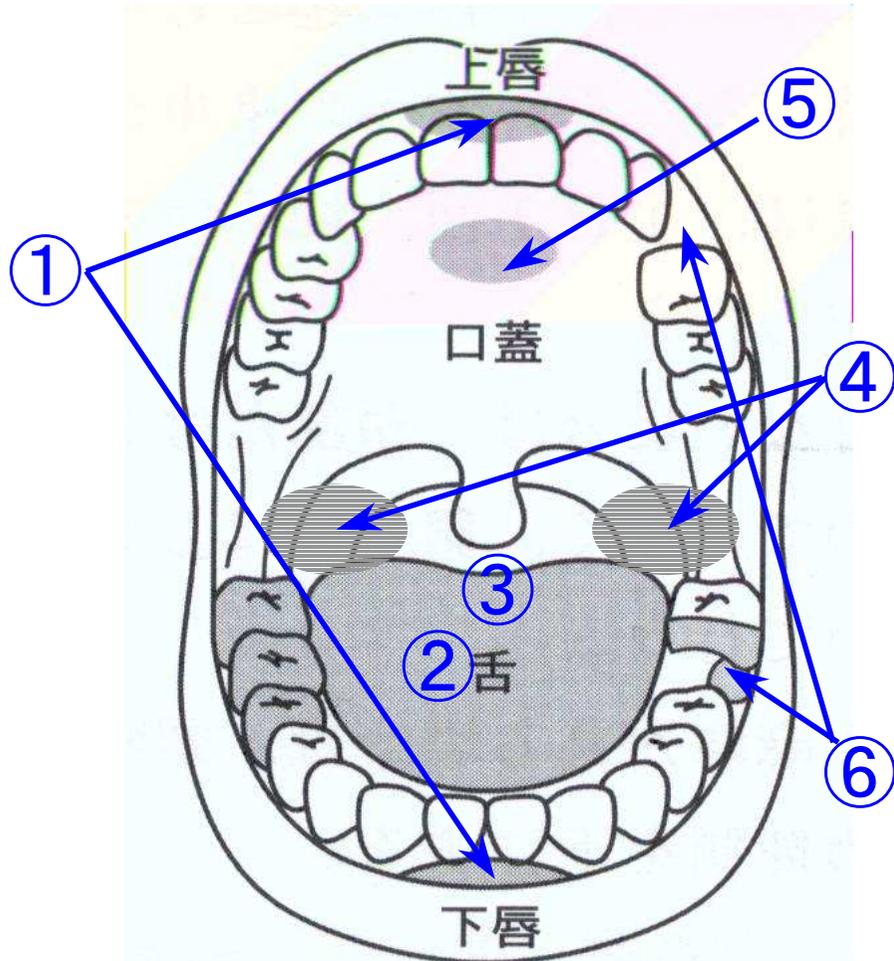


！生活の質の向上！

口腔ケアの実際

～ 汚れのたまる場所
必要物品

汚れがたまりやすい場所 ～口腔内の観察



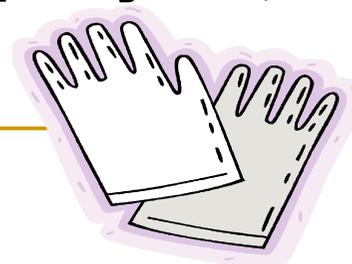
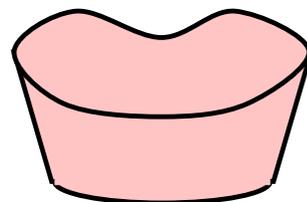
* 汚れがたまりやすい部分 *

- ① 歯ぐきと唇(ほほ)の間
- ② 舌の表面
- ③ 舌の奥
- ④ 扁桃腺の前
- ⑤ 上あご
- ⑥ 歯が抜けているところ
歯の根が残っているところ

●・・・汚れがたまりやすいところ

用意するもの

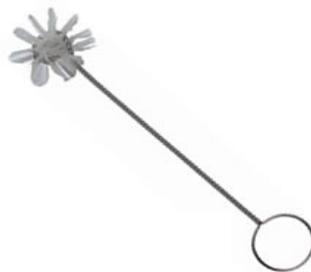
- 歯ブラシ
- スポンジブラシ
- ガーグルベースン
- 舌ブラシ
- ガーゼ
- コップ
- 吸い飲み
- タオル・防水エプロン・フラット型のオムツ
- 使い捨てゴム手袋



あると便利なもの

* あると便利なもの *

- 工夫した歯ブラシ
: 柄を太くした物・向きが変わるもの
- 歯間ブラシ
- 電動歯ブラシ
- くるりーなブラシ
- 吸引機・吸引機能つき歯ブラシ



全てそろえる必要はありません
状態に合わせて必要なものをそろえましょう

部分介助の場合

- できるところはなるべく自分で…
- 麻痺がある場合は麻痺側に食べかすや痰が残りやすいので、必要に応じて介助をしましょう
- 動ける方は、1日1回は洗面所で歯磨きをしましょう
- 麻痺側を認識できない方には鏡で麻痺側を映すと意識しやすいです
- 歯ブラシは健側で持ちます
- 頬や舌のストレッチを行ないましょう

